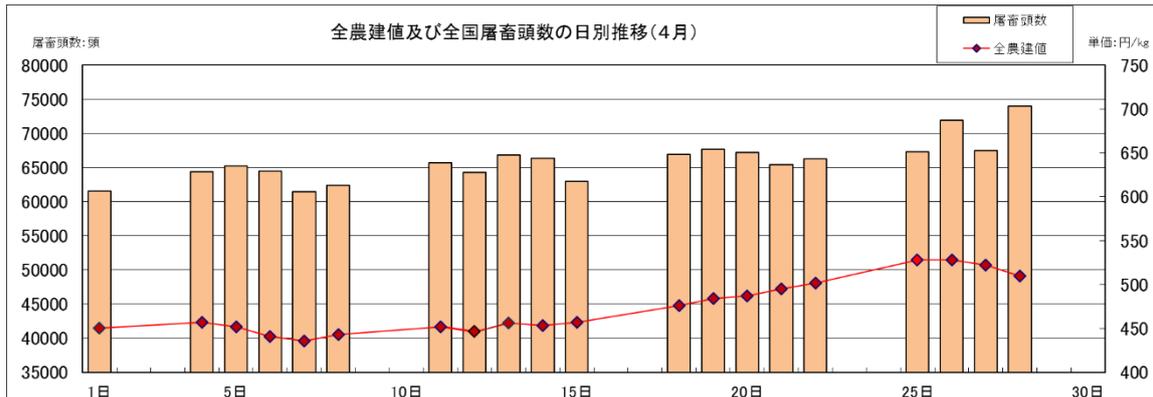


# 肉豚インフォメーション（4月）

## 【全農建値】

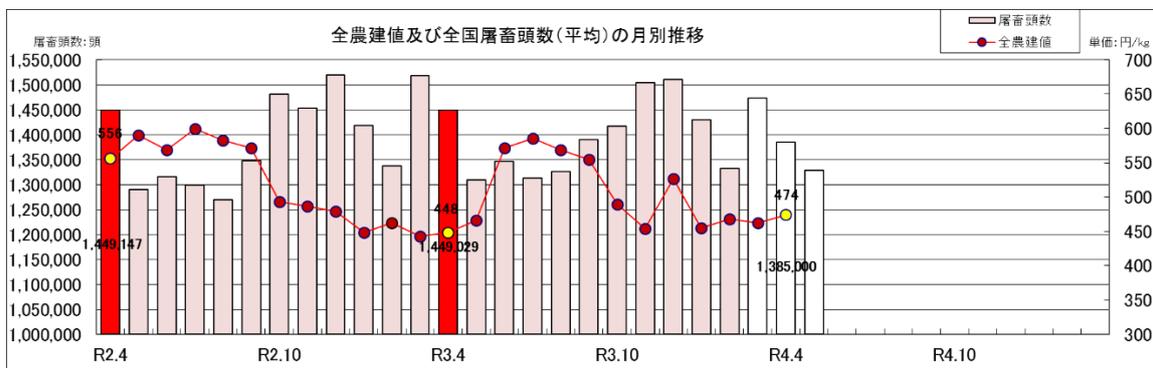
2022年4月（税抜）	2021年4月（税抜）
474円/kg（27円高）	447円/kg

4月は、相次ぐ食料品の値上げによる節約志向もあり、中旬まで軟調な展開となった。下旬にかけて連休に向けた手当て買い等により500円を超える展開となった。

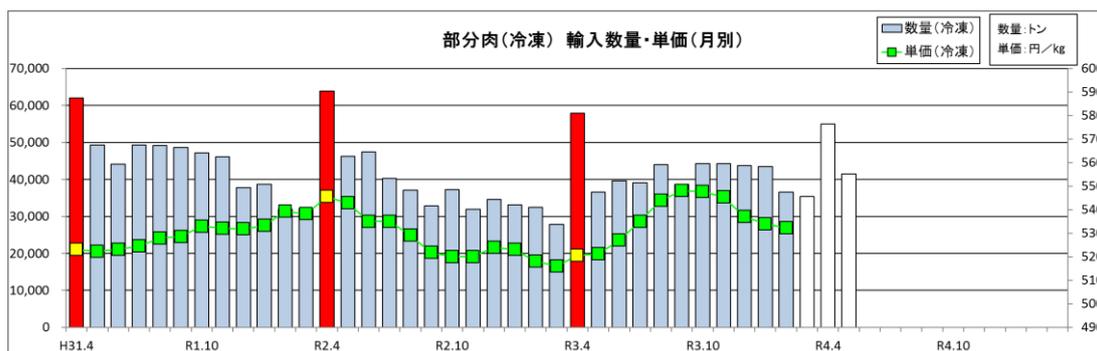
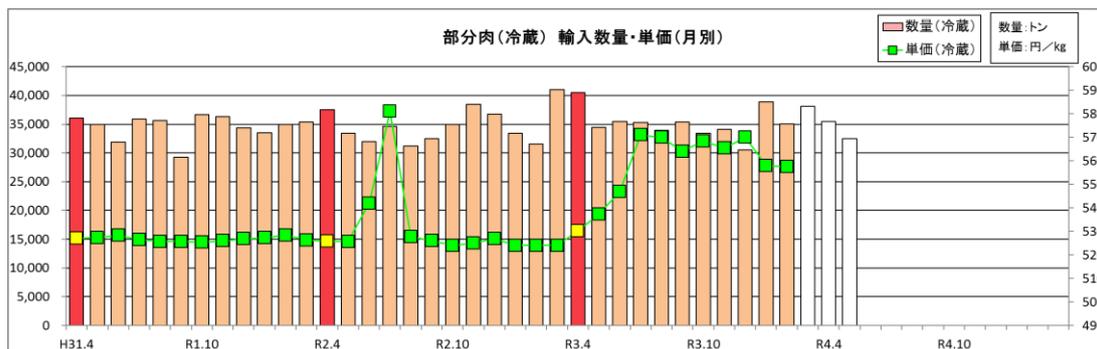


## 5月以降の動向

5月の出荷頭数は、前年同月をわずかに上回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、4月は、前年同月の輸入実績量が、巣ごもり需要の影響等により多かったことに加え、最近の北米の国内需要増加による現地価格の高騰等から、前年同月をかなり大きく下回ると予測する。5月は、北米の国内需要増加の継続や急激な円安相場による現地価格の高騰等から、前年同月をやや下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。冷凍品輸入量は、4月は、北米の国内需要増加による現地価格の高騰等から前年同月をやや下回ると予測する。5月は、前年同月の輸入量が、新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減少や、アジア諸国を中心とした旺盛な買い付け等に伴う現地価格の高騰により少なかったこと等により、前年同月をかなり大きく上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。(ALIC 豚肉の需給予測について 4月26日)



3年ぶりに行動制限のないGWを迎え各地で人手が戻り始め、観光地は賑わいを見せている。外食需要が少しずつ回復する中、カナダボークの需給はタイトになっていることや穀物価格の高騰による先行感から現地相場も上昇していることから国産相場を押し上げる要因となっている。

出荷頭数は前年をやや上回る予想だが、茨城県や群馬県でCSFの発生が続いていることから今後の出荷頭数への影響が懸念される。

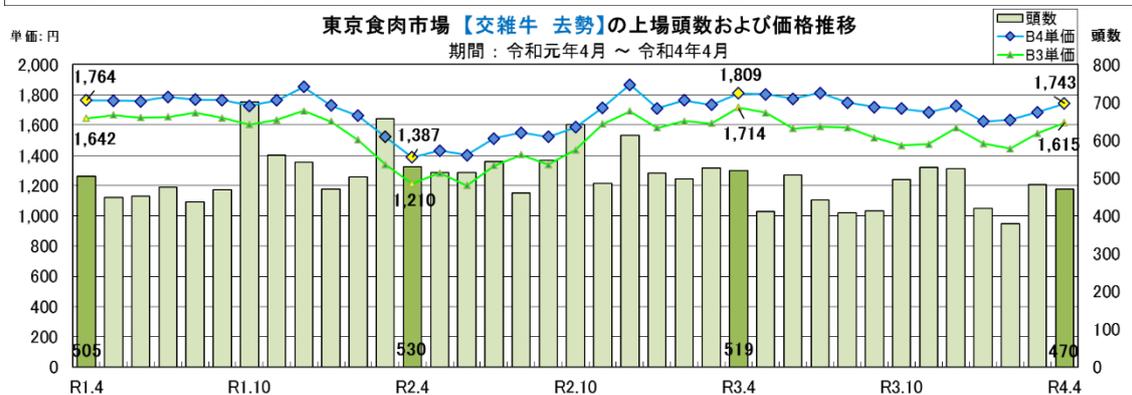
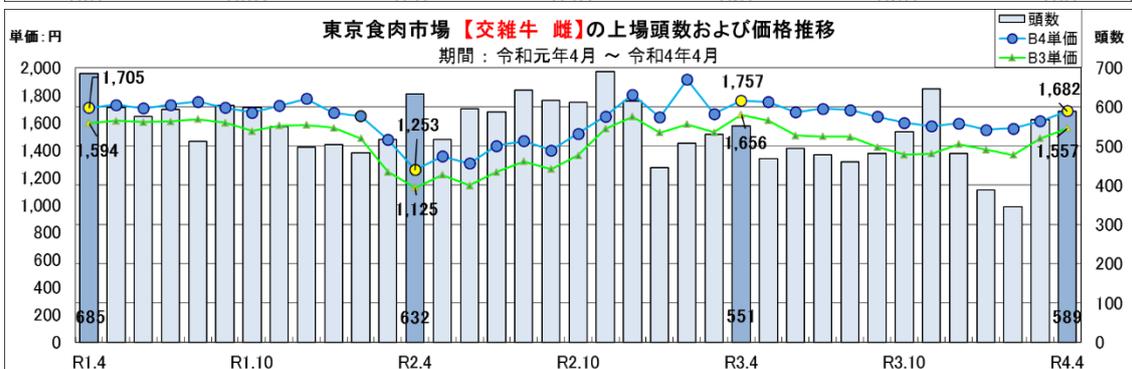
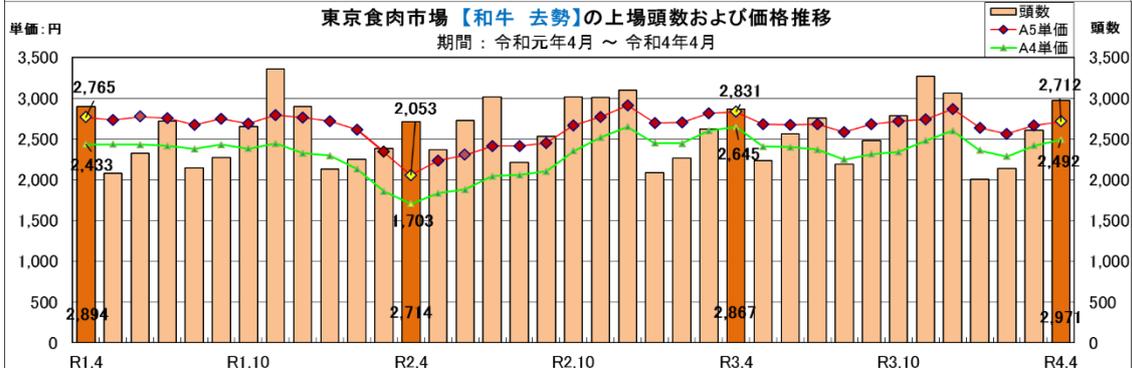
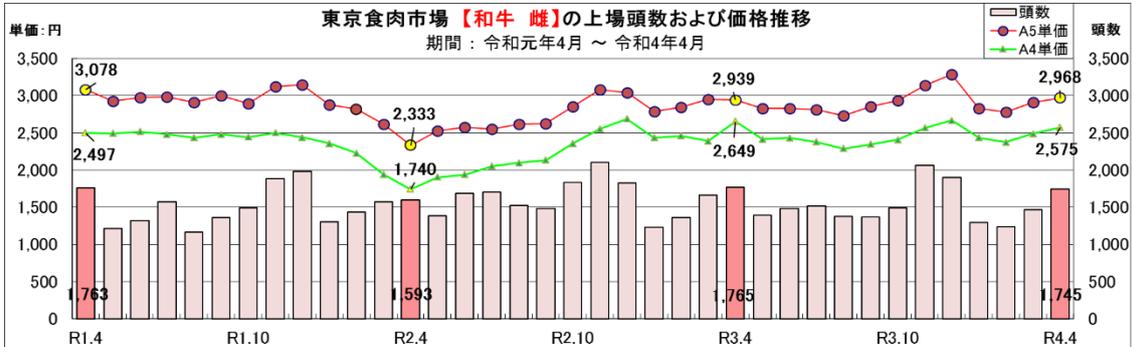
5月の相場は底堅く推移する見通し。

全農建値(税抜) 予測レンジは540円~620円とする。

# 肉牛インフォメーション（4月）

## ● 4月の動向

GWの食肉需要回復への期待感から相場は月初めから値を上げた。中旬には落ち着き、和牛は徐々に緩んできたが、交雑牛や乳牛は堅調な相場を維持した。



● 5月の動向予測

東京の上場予定頭数は 6,600 頭で昨年より 100 頭ほど多い。大型連休での消費に期待したい反面、消費の動きは厳しいのではとの声も。相場は 4 月末時点で、昨年 5 月の水準近くになっていることから、これ以上の相場の値上げは期待薄か。

5月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,650 円 (税込み)      A4 等級 2,450 円 (税込み)

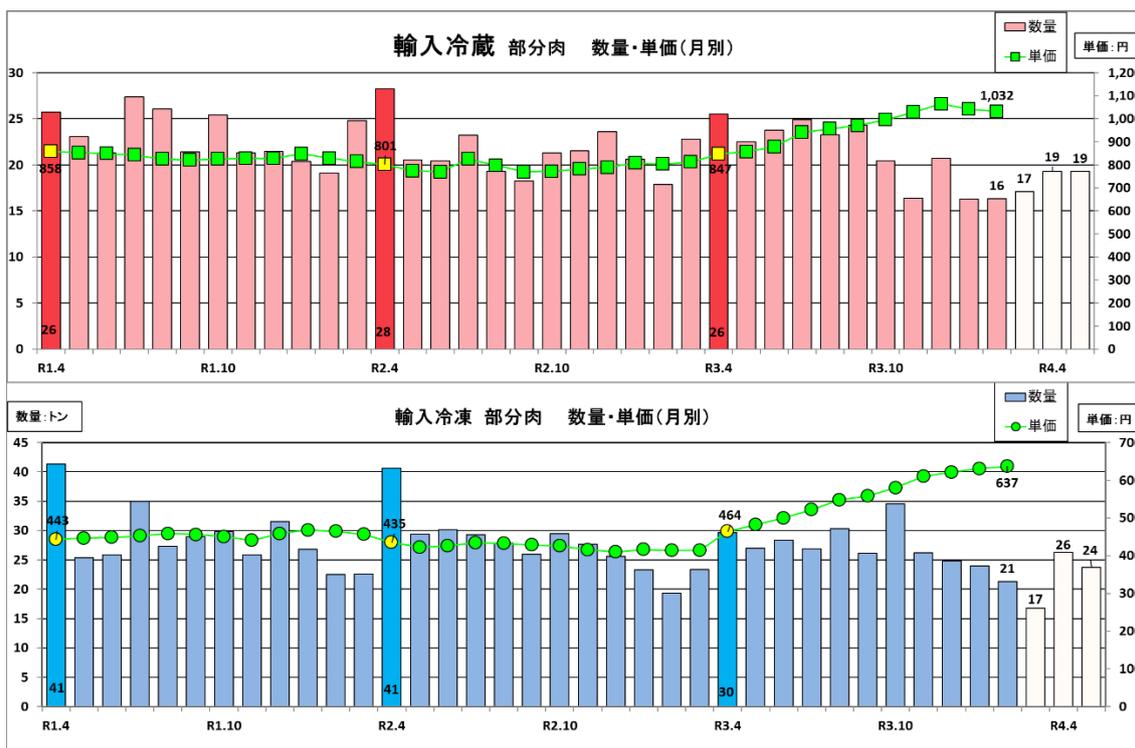
交雑去勢 B4 等級 1,650 円 (税込み)      B3 等級 1,550 円 (税込み)

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州及び米国において現地価格が引き続き高い水準であることや、物流の混乱等により、4 月は大幅に、5 月はかなり大きく、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、豪州及び米国において現地価格が引き続き高い水準であることや、物流の混乱等により、4 月、5 月ともに前年同月をかなり大きく下回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

(A L I C 牛肉の需給予測について 4 月 2 8 日)



● 消費動向

4 月は焼き材を中心に荷が動き、和牛、交雑牛ともにバラはひっ迫した。ヒレやウチモモの引き合いも強かった。5 月は自粛要請がない状態での GW となるため行楽需要が期待される。一方、量販店向けは相次ぐ食品の値上げなどにより、高単価の牛肉消費は抑え気味が予想される。モモやスネ等のスソ物中心の動きとなるか。

●全農茨城県本部家畜市場動向

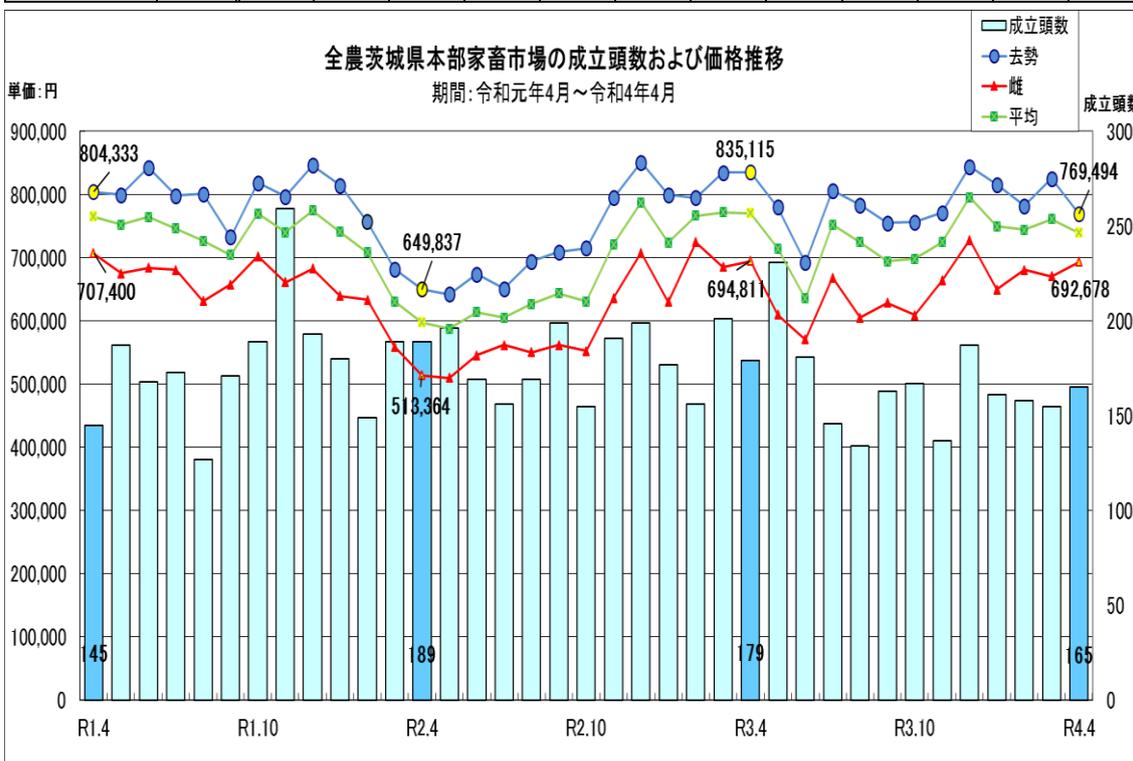
素牛平均価格（4月税込）は、黒毛和種の雌は692,678円で前月比+22,159円、去勢は769,494円で前月比▲55,796円となった。上場頭数（成立）は165頭で前月比+10頭。

次回上場頭数は180頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

(税込)

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	730,497	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776	744,087	761,385
去勢	787,183	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667	781,744	825,290
雌	648,362	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911	680,900	670,519
4年度 平均単価	739,233	739,233											
去勢	769,494	769,494											
雌	692,678	692,678											
2年度 成立頭数	178	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	167	179	231	181	146	134	163	167	137	187	161	158	155
4年度 成立頭数	165	165											



# 食肉インフォメーション（4月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査3月度結果報告によると、全体売上は前年対比105.9%だが2019年比では86.3%となり、相変わらずコロナ以前までの回復には至っていない。まん延防止が全面解除となり通常営業に戻りつつあるが、人手不足・円安・原材料費高騰などが重なり、回復に水を差す形となっている。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の3月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,128億円(前年同月比100.8%、既存店ベース99.1%)で、内食需要が堅調だったことで焼肉用の動きが良かったが、輸入牛肉で価格高騰が続いて販促が打ちづらかったことにより前年とほぼ同等の売上高となった。

4月は気温上昇とともに焼き材の動きが増えるが、相次ぐ物価上昇の影響で消費者の節約意識が高まっている。まん延防止解除により、GWにかけての需要回復の期待はあるものの、同時に連休明けの感染再拡大への警戒も強まっており、先行きの不透明な状態が続いている。

## ○牛肉

まん延防止の全面解除を受けて飲食店やホテルなどからの引き合いが出始め、外食需要の回復の兆しが見えたが、物価上昇や輸入需要の伸び悩みにより和牛のロースなどの高級品は動きが弱かった。一方、交雑牛やホルスは高騰する輸入牛の代替需要により堅調だった。輸入牛は現地価格の高止まりと入船遅れが続き、厳しい荷動きとなった。

## ○豚肉

3月は、まん延防止が21日まで続いた中で内食需要が底堅く推移し、国産では気温の上昇に合わせる形で焼肉用の大型パック商品が好調だった他、輸入物の代替需要としてバラの動きが良かったが、学校給食の不需要期からウデ・モモは不調だった。輸入豚は、入船遅れによって賞味期限が短くなったチルド在庫の投げ売りなど、不安定な供給が続いている。

## ○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和4年3月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和2年3月	12,559	12,717	742	26,988	9,990	11,386	7,934	82,316
令和3年3月	12,983	14,442	7,575	30,766	12,093	12,661	8,543	99,063
令和4年3月	13,746	11,697	5,791	24,934	19,980	11,615	5,603	93,366
増減 (R3-R4)	763	-2,745	-1,784	-5,832	7,887	-1,046	-2,940	-5,697
対比 (R2-R4)	109%	92%	780%	92%	200%	102%	71%	113%
対比 (R3-R4)	106%	81%	76%	81%	165%	92%	66%	94%